

リコー・産総研知識集約型デジタルサービス創出連携研究室

▶ ラボ概要

設立日：2025年3月11日、ラボ長：原田 亨

所在地：産総研 柏センター内（千葉県柏市）

連携内容：業務特化型AIエージェントの展開

ナレッジ起点のデータビジネスの構築

ビジネスプロセスのデジタルツイン化による運用最適化と新たな価値創出

“はたらく”人を中心とした 知的生産性の最大化を目指す新たなイノベーションの拠点

■ リコーの役割

現場の業務知識と課題を収集し、人を中心としたデジタルサービスの実証と展開を主導

■ 産総研の役割

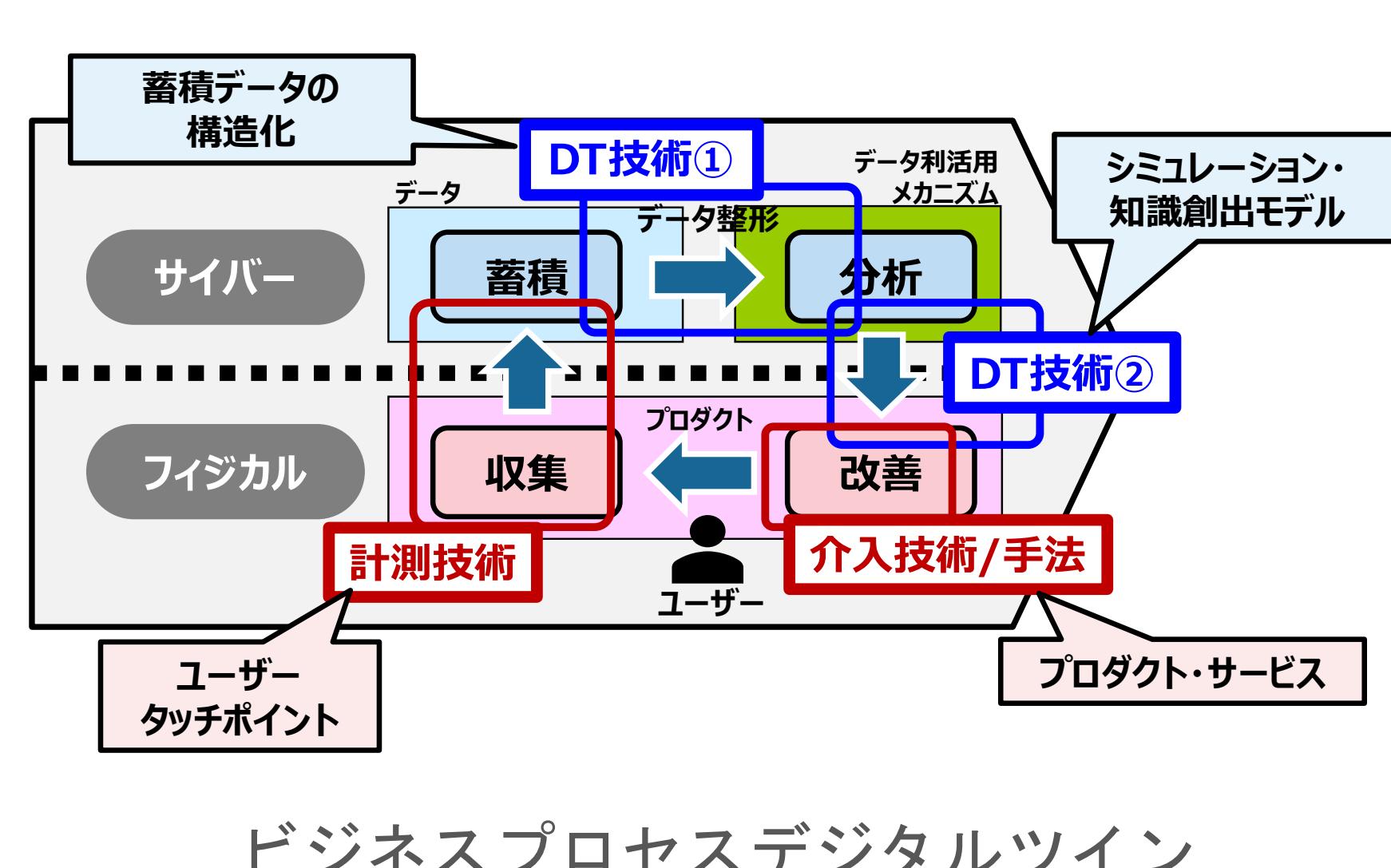
人中心・AI・サービス工学の研究知見を提供し、知識のモデル化を主導

■ AISTの役割

研究成果の社会実装を進め、産学連携を事業化につなげる仕組み作りを主導



知識集約型産業における高付加価値な成果を生み出すための モデルを構築



- “はたらく人”を中心に据えた知識のモデルを構築し、経験・判断・行動の意思決定支援をサービスとして提供
- AI・データ分析・サービス工学を統合した、高付加価値な知識サービス創出プロセスを体系化
- 「業務特化型AIエージェントの展開」、「ナレッジ起点のデータビジネスの構築」、「ビジネスプロセスのデジタルツイン化による運用最適化と新たな価値創出」といったデータドリブンなサービス価値を共同で展開

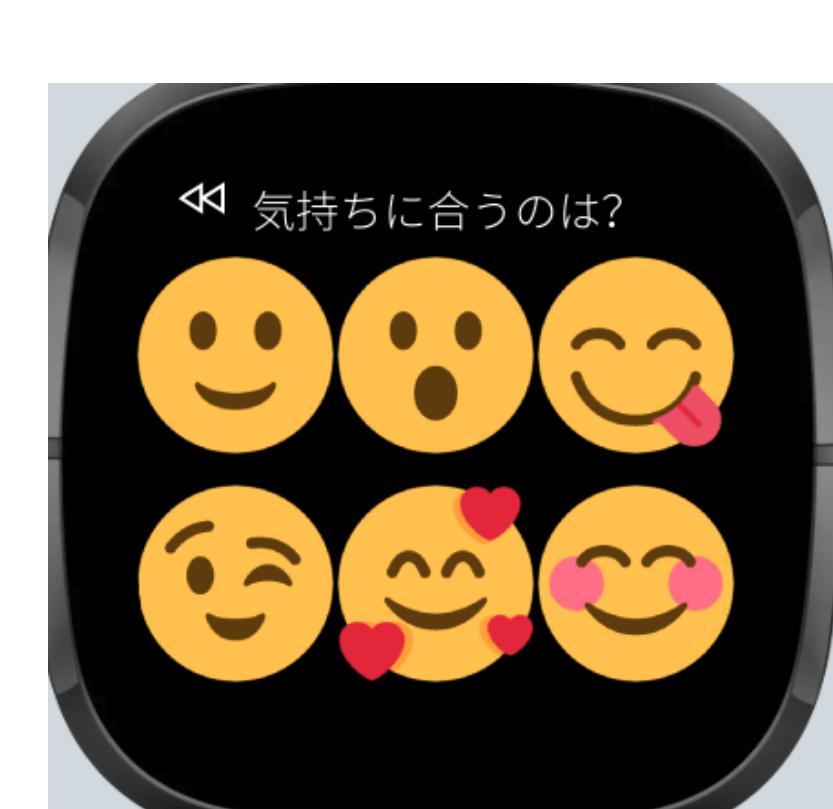
特徴的なアセットを活用

■ 人間社会拡張研究部門のアセット

- ・ 人間計測技術（心理・行動）
- ・ 人間拡張、介入技術（VR・XR）

■ リコーのアセット

- ・ はたらく人のワークデータを精密に計測・AI活用を見越したデータ整形技術
- ・ 業務データを解析し、デジタルツインで実務改善を実現するAI・ICT基盤



展示品